

# 神奈川県三浦半島宮陵会だより

## 第22号

《発足10周年記念号》

発行者: 神奈川県三浦半島宮陵会 企画・広報委員会

2016年8月20日発行

事務局: 横須賀市浦賀丘2-8-19 Tel: 046-843-0600

### 平成28年度定期総会・記念講演会開催

定時総会に約50人が参加

平成28年度の定時総会が6月19日、セントラルホテル横須賀で開かれ会員ら約50人が参加した。池原治・神奈川県資料編纂室長、春原正三郎・神奈川県宮陵会専務理事(事務長)のお二人には来賓としてご出席いただき、挨拶を頂戴した。(池原氏挨拶・大学の現状は別掲)



冒頭で鈴木和夫会長は「本会を始め会員や他の宮陵会の皆さまのおかげで発足10年を迎えることができました。発足当時から地域組織の執行部として活動を支えていただいた

幹事の皆さまにも改めて感謝申し上げます。この節目を機に今後20年、30年と継続できるよう頑張ってください。引き続きご協力ご支援をお願いします」と挨拶した。

続いて開かれた総会では、平成27年度の事業・収支報告や新役員承認、平成28年度事業計画・収支予算など5本すべての議案が全会一致で承認された。



承認された役員の内、新任は幹事の西脇幸一(S53年貿易卒)、田原清彦(S49年貿易卒)両氏で、鈴木和夫会長以下他の役員は再任で任期は2年。(別表右上掲載)



2016.6.19 セントラルホテル横須賀にて

### 平成28・29年度役員

会長	鈴木 和夫	S46年法律卒	
副会長	小池 邦夫	S38年機械工卒	総会担当
同	大倉 国光	S38年法律卒	新年会担当
同	長谷川征勝	S40年貿易卒	横須賀地区担当
同	砂川 正夫	S44年経済卒	新年会担当
同	鈴木 稔	S44年経済卒	総会担当
同	中川 六郎	S44年経済卒	葉山地区担当
同	内藤 正久	S51年機械工卒	企画担当
事務局長	原 柳作	S46年英文卒	
会計	若林 秀明	S39年経済卒	
幹事	矢澤 基一	S44年経済卒	鎌倉地区担当
同	武井 利徳	S45年経済卒	横須賀地区担当
同	嶋田 晃	S47年経済卒	横須賀地区担当
同	嶋田 順子	S47年短商卒	横須賀地区担当
同	塩塚 定雄	S48年貿易卒	広報担当
同	田原 清彦	S49年貿易卒	逗子地区担当
同	西脇 幸二	S53年貿易卒	横須賀地区担当
同	石渡 大輔	S56年法律卒	三浦地区担当
会計監査	村田 龍也	S39年貿易卒	
同	堀越 昌樹	S62年法律卒	
顧問	古川 勝彦	S40年経済卒	

続いて本学特別招聘教授の上村大輔氏に「天然医薬リードを求めて」と題して記念講演をしていただいた。



先生は「自然界には人間の英知を遥かに凌駕する特異な科学構造の有機化合物が存在し、生物に対して切れ鋭く作用します。私たちは医薬品へと発展する可能性のある天然有機化合物の探索研究を展開しています。実際に乳がんの治療薬として開発、使用されている抗がん剤へとつながったハリコンドリンBを発見しました」と語った。

なお、上村先生は本学主催の「全国高校生理科・科学論文大賞」の審査委員長も務めています。

## 懇親会開催



司会者の堀越昌樹さん

記念撮影後に行われた懇親会の総合司会は、明るく楽しくウィットに富む、いつもの名司会者・堀越昌樹さん（昭和62年法律卒）。氏は地元金融機関の現役職員。



はなみずきの演奏

主催者挨拶と乾杯の音頭は会計監査役で学校法人神奈川大学の理事でもある村田龍也さん。10周年記念パーティーということで、これまでのように立食でなく座卓での懇親会となりました。

副会長・内藤正久さんの中締め後、校歌の斉唱で懇親会は終了しました。

皆様のご参加に感謝します。来年の新年会は1月29日（日）を予定しています。次回も是非ご参加くださるようお願いします。（事務局長 原柳作）



参加者の面々 その①

アトラクションは、幹事の島田順子さんの紹介で、後藤三恵さん主宰の「大正琴アンサンブル・はなみずき」の演奏。美人メンバー4人とあって全員大歓迎。「はなみずき」が用意して下さったカラー刷りの歌謡集を見ながら、大正琴の伴奏に合わせ早速マイクをにぎり歌いだす会員もいて大いに盛り上がりました。



参加者の面々 その②



大正琴アンサンブル・はなみずきのメンバー



参加者の面々 その③

## 《挨拶》 神奈川大学の現状について

神奈川大学資料編纂室長 池原 治 氏

### ① 将来構想の推進について

平成28年度からは次の6か年の計画となる「第二期中期実行計画」を新たに策定し、創立100周年に向け、さらに魅力ある学園づくりに努めてまいります。



平成28年度は、将来構想の推進を含む次の4点を重点項目とします。

(1) 将来構想第二期中期実行計画の推進、(2) 教育組織総合計画、教員組織総合計画、キャンパス総合計画の策定・推進、(3) 学園全体のグローバル化の推進、(4) 横浜キャンパスマスタープランの推進の4点を重点項目とします。

この中には、新しい教育組織の設置、国際学生寮の開設、体育館、仮称・宮陵会館の建設計画着手などが含まれます。

### ② 新学長について

石積 勝学長の任期満了に伴い、次期学長選挙の結果、兼子 良夫（かねこ よしお）経済学部助教が学長に就任しました。

学長の任期は、2016年4月1日から2019年3月31日までの3年間です。

【兼子良夫（かねこ よしお）新学長プロフィール】

1955年山形県生まれ。同志社大学商学部卒業、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得後退学。大阪大学で博士（経済学）の学位取得。専門は財政学、地方財政。

### ③ 入試結果及び入学者数

2016年度の学部志願者総数は、29,405人となり、前年度の28,191人と比べて、1,214人・4.3%の増加となりました。

### ④ 卒業生子弟・子女入試制度について

2012年度の入試より始めた卒業生子弟・子女入試制度ですが、2016度は35人が志願し、29人が合格し、26人が入学いたしました。

### ⑤ 在籍学生数（2016年4月1日）

学部総数は、18,043人（横浜14,255人、平塚3,788人）、大学院総数は414人。合計18,457人が在籍しています。

内神奈川県出身者は、男子5,736人・女子2,127人計7,863人（43.6%/全国）です。

### ⑥ 就職状況について（2016年5月6日現在）

非常に厳しい就職状況が続いておりましたが、ここ数年就職環境は回復の兆しをみせております。

2016年3月学部卒業者の就職率ですが、就職希望者に対する就職者の割合は、5月6日現在、全学部で93.4%（昨年最終95.4%）となっております。

### ⑦ 米田吉盛教育奨学金の状況について

平成22年度から経済支援及び成長支援のための奨学金を盛込んだ米田吉盛教育奨学金を開始しましたが、昨年度は1,477人の学生に対し約3億4000万の奨学金を給付しました。

この奨学金制度の開始にあたりましては、第2期募集期間（3年間）が終了し、約1億5200万の寄付が集まりました。昨年度から第3期の募集を開始しておりますが、宮陵会諸先輩方のご理解とご支援を賜りましたことを、この場をお借りして、御礼申し上げます。

また、神奈川大学の課外活動団体への賛助金については、一昨年より宮陵会と連携し、新たに大学が「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」を設置しました。

2016年4月1日現在、1390件、約1200万円の寄付が集まりました。この寄付は、ご指定いただいた課外活動団体へそのまま寄付されます。

このほかにも学生の活躍について等、報告がありました。紙面の都合上割愛させていただきました。

## 三浦半島宮陵会同好会通信

世話人が紹介します

### ● ゴルフ会世話人：中川六郎（昭和44年経済卒）

メールアドレス：nakaroku@jcom.home.ne.jp

連絡先：090-9003-2499

三浦半島宮陵会主催、第30回オープンコンペは7月22日（金）、葉山国際カンツリー倶楽部エメラルドコースで5組20名が参加して行われた。

朝、写真撮影のときは曇りであったが、スタート時には雨が降りだし、前半は雨中のゴルフとなった。午後には雨もやみ、涼しい風が吹いた。しかし、この時期の強い芝と難しいグリーンに参加者は苦戦したようだ。入賞3名と塚田さん以外は100が切れないというコンディションであった。

結果は、田原さんのご友人で東京から参加いただいた加藤氏が優勝、準優勝も田原さんのご友人で逗子の寺澤氏。

雨の中でも前半7ホールパープレイで39を出して、スコア86でベスグロも獲得した。三位は前回優勝の萩原氏であった。ドラコンは土屋、寺澤氏、ニアピンは萩原、寺澤氏であった。

次回10月27日の幹事は、加藤・武井両氏になった。今回、30回記念で、お土産に旭屋の葉山コロッケを用意させていただいた。



葉山国際カンツリー倶楽部に於いて 2016.7.22

●テニス会世話人:小池邦夫(昭和38年機械卒)

メールアドレス:kichiemu@mbj.nifty.com

連絡先:090-8811-5079

本年の夏季合宿は、三浦半島宮陵会役員有志と共に、神奈川大学富士見高原研修所で、8月4日(木)から6日(土)まで開催しました。世話人の小池邦夫さんが参加されなかったのですが、会員5人が参加し、役員有志の方々ともに楽しいひと時を過ごしました。

本会は毎月第3月曜日午後に定例会を、葉山ラベラ・テニスクラブで開催しています。終了後には欠かさず懇親会を開催し反省会を行ない、更に一つ上を目指し頑張っています。アフターのための参加も歓迎します。新入会員をお待ちしています。(塩塚)



神奈川大学富士見高原研修所に於いて 2016.8.6

●歩こう会世話人:若林秀明(昭和39年経済卒)

メールアドレス:w-hideaki@mvd.biglobe.ne.jp

連絡先:090-3220-1479

前回は昨年12月中旬に鎌倉の紅葉を見ることを計画して、名刹の紅葉谷を散策しました。

12月という忙しいときに実施をしましたが、錦繡の時期として最高に恵まれ、遠くに富士山を観ることができました。多くの方々の参加を想定していましたが意外と少なく残念でありました。今年も気候の良い時期に企画をしますので、皆様お誘いの上ふるってご参加くださるよう、お待ちしております。



鎌倉紅葉谷のもみじ 2015.12.12

●つり会世話人:塩塚定雄(昭和48年貿易卒)

メールアドレス:shiozuka@aria.ocn.ne.jp

連絡先:090-5581-1043

只今一人で活動しています。皆様のご都合の良い時期に釣りの会を企画しますので、その際には是非ご参加ください。

## 本会HP(ホームページ)の紹介

<http://miurahanto.blog.shinobi.jp>



2016.3.26 役員会開催をクリックすると内容と上記写真が見れます

神奈川大学三浦半島宮陵会のHPのアドレスは上記のようになっていますが『神奈川大学三浦半島宮陵会』でも検索できます。

発足10周年を記念して本会の歩みを本号14・15頁に掲載しましたが、その詳細につきましてはHPでご報告をクリック

し開催行事の見たい項目をクリックすると、ご覧になることができます。

今後とも魅力のあるHPとしていきますので、ご覧ください。投稿等もお願いします(広報担当:塩塚定雄)

# 三浦半島宮陵会発足10周年特集

発足10周年を記念して会員の皆様から寄稿して頂きました

掲載は会員氏名の五十音順

## 《特別寄稿》

### 衣笠城 ～三浦一族のシンボル～

浅田 勤 (昭和42年、貿易学科卒)

三浦半島を中心に大きな勢力を誇った三浦一族は源頼朝の最大の後ろ盾だった。一族は横須賀・衣笠に城を構えたが、ふだんは矢部郷(現、横須賀市大矢部附近)が生活の拠点だった。

一帯には、ゆかりの史跡が点在する。

◇ ◇ ◇



伊豆で挙兵した頼朝と合流するために横須賀・衣笠城から出撃した三浦義澄らは荒天に阻まれ、1180(治承4)年8月23日から24日にかけて行われた石橋山の合戦には間に合わなかった。丸子川(現、酒匂川)付近で「合戦すでに敗北」

三浦一族の隆盛を伝える『衣笠城址』の石碑

の報に接して引き返す途中、鎌倉・由比ヶ浜で平家方の畠山重忠の軍勢と遭遇、戦闘となった。双方に戦死者が出たが、一族は衣笠城へ引き返すことができた。

重忠は8月26日、衣笠城を攻略した。辰の刻(午前8時ごろ)、河越重頼、中山重実、江戸重長らが衣笠城へ攻め寄せた。迎え撃つ三浦一族は東の木戸口(大手)を義澄と義連、西の木戸は義明の孫の和田義盛らが固めた。『源平盛衰記』や『平家物語』によると平家方は3千余騎、三浦勢は3百から4百数十騎と推定される。

義澄らは防戦に努めたものの多勢の前に劣勢は否めなかった。三浦勢は義明の命令に従って、城を捨てて脱出した。一族は久里浜から安房国へ向かった。衣笠城にひとり残った義明は27日の辰の刻(午前8時ごろ)、河越重頼、江戸重長らに討ち取られた。89歳だった。

◇ ◇ ◇

衣笠城はJR衣笠駅の西南、三浦半島の最高峰大楠山から伸びる尾根の先端にあり、山すそを深山(みやま)川、大谷戸川が流れる自然の要害であった。『三浦古尋祿』などによると、前九年の役で源頼義に従った村岡良文の孫・

為通が戦功をたてたことから三浦の地を与えられて三浦姓を名乗るとともに、衣笠城を築いたと伝わる。

山頂部に物見岩と呼ばれる巨大な岩石があり、その傍らに「衣笠城址」の碑が立つ。大正時代に近くの間家から経筒や青白磁の水滴、合子(ごうす)、鏡などが出土した。これらは平安時代後期の築造で、三浦一族が施主と推定される。

城跡には、行基開創と伝わる大善寺がある。同寺は不動堂の別当寺で本尊は木造阿彌陀三尊像だった。明治時代に不動堂が廃寺となったために不動堂から移された不動明王像が阿彌陀三尊像に代わって本尊となった。

後三年の役で源義家に従った三浦為繼が戦場に赴いた際、この不動明王が現れて敵の矢をすべて取ってくれたとの伝承から「箭執不動(やとりふどう)」とも呼ばれる。寺に登る階段近くには「不動の井戸」があり、滝不動が祀られる。現在も豊かな水量があり、合戦時には貴重な飲料水として利用されたと思われる。

『源平盛衰記』によると衣笠城への平家方の来襲を前に、和田義盛はより防御に適した怒田(ぬた)城(現、横須賀市吉井)に移るべきだと主張したが、義明は衣笠城での合戦にこだわった。衣笠城は、天下に「聞えたる城」であり、三浦一族のシンボルであった。(ジャーナリスト)

## 神奈川大学三浦半島宮陵会 10周年をむかえて

石渡 卓 (昭和51年貿易卒)



この度は、神奈川大学三浦半島宮陵会の発足10周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

これからも「明るく楽しく最善を尽くす」をモットーとする鈴木会長のもと、母校

の繁栄のため活動されることを期待しております。

私が神奈川大学に入学したのは、学生運動活発なりし頃で、授業も休講が多く、学問よりむしろアルバイトとクラブ活動、レポート提出にいそしむ学生でした。「なぜあの時もっと勉強しなかったのか」と今になって思うのですが、後悔先に立たずとはよく言ったものです。後輩たちには、学生の本分を忘れず「人生一度きり。二度とないこの一日、この一瞬をポジティブに生きる」大切さを伝えたいと思います。

さて、私が理事長を務める湘南信用金庫と神奈川大学との縁は深く、多くの卒業生が当金庫に在職しているのみな

らず、2012年には、産学連携協定を結び、産業経済の振興と地域社会の発展を互いに目指しているところです。

神奈川大学は、2028年の創立100周年に向けたビジョンの一つに「地域社会や地球規模の問題の解決」を掲げていますが、当金庫においても地域の課題や問題を解決するための専門部署「地域活性課」を創設し、積極的な地域支援活動の展開を通じて、地域創生を推進しています。

神奈川大学と湘南信用金庫との間に結ばれた多くの縁を大切に、パートナーとして母校と共にこれからも歩み続けたいと考えています。

## 発足10周年にあたって

石渡大輔（昭和56年法律卒）



神奈川大学三浦半島宮陵会  
発足10周年おめでとうござ  
います。創立時の幹事の皆様の  
ご努力に感謝いたします。

私は、その当時、神奈川大学  
入試センターに勤務していま

したが、入試相談会等で土日の出勤が多く、また勤務多忙のため新年会や総会に出席できず、参加していませんでした。しかし、大学職員の同僚である清水英樹さん（平成27年4月逝去）に懇親会の途中でも出席するように誘われ、入試相談会の帰りに途中参加（平成20年6月）しました。

はじめて出席した時に渡された名簿を見て、私が一番年下であることがわかり驚きました。そして、先輩方の活力溢れる姿に圧倒されました。その後、平成24年に幹事を引き受けるにあたり若い人の参加人数を増やそうと思い、知り合いの若い（20歳代）卒業生に参加の声をかけて出席してもらいました。

若い卒業生が参加すると、懇親会も非常に盛り上がりました。今は、在校生（シンダイイノベーション）や卒業5年以内の方に案内を送るなど、少しずつですが出席者が増えているのは喜ばしいことです。

私は、現在神奈川大学附属中・高等学校に勤務していますが、幹事として三浦半島宮陵会の今後のさらなる発展に寄与していきたいと思っています。

## 箱根駅伝初優勝の思い出

大倉 国光（昭和38年法律卒）

昭和38年卒業し横須賀市役所に勤務しておりました。所内には神大同窓会「みやも会」が創設されており、150人の会員を擁し親睦を深めておりました。



さて、箱根駅伝ですが平成9年  
第73回大会をテレビで観  
ていて、沿道で紺色の旗を持  
った応援の人に、もっと大きく目  
立つ様に頼むぞという気にな  
り、走ってくる選手に頑張れと

声をかける自分。真にこれは同じ大学で学んだ先輩後輩  
なのです。

そして前年大会における途中棄権でタスキを受け継げ  
られなかった悔しさを晴らすかの様に、見事に初優勝を遂げ  
たのであります。

「みやも会」は平成9年1月17日に工藤監督と数名の  
選手をお招きし、会員一同と栄誉ある優勝の喜びと感動を  
分かち合いました。ただ100名近い会員が一堂に会した  
のは、後にも先にもなく、駅伝の優勝がこんなに人を引き  
付け会員同士の団結を強めるものかと驚嘆したものでした。

今の時代、若者も年配者もコミュニケーション不足と言  
われています。道に迷ってもスマートフォンで簡単に案内  
され、弁当も食材もお金を払えば玄關に置いて、会話の必  
要は無く困ることはありません。時代に逆らっている訳  
ではありませんが、道に迷ったらすみませんと言って聞き、  
教えてくれたら有難うと言う。些細なことでもホットしま  
す。

最近は昔の仲間と隔月で飲み会を持ち、年に1回は旅行  
しています。これからも積極的に人との係わりを求めて行  
きたいと思います。

## 学生時代の思い出

川口 好孝（昭和54年経済卒）



私が学生時代を過ごしたのは、  
かつての勢いは失われたとは  
いえ、貿易がまだ存在感を保  
っていた時代でした。経済学部  
にも貿易学科があり、まわり  
からも勧められて大学が力を入

れている貿易関係の授業を履修しました。そのなかでも商業  
英語の授業は先生の熱意が直接伝わってくる中身の濃い授  
業で、夢中になってノートを取りました。

この授業でビジネスライティングの基本について学んだ  
ことは、後に神奈川大学で国際交流センターの仕事をした  
時に大いに役立ちました。当初はFaxが通信手段の主流で  
したが、彼我の違いを越えて理解を深めるための手段であ

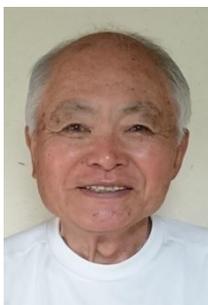
るインターネットによるコミュニケーションへの応用が利くという点で、いま思うと、時代を先取りしたITの原点の勉強をしていたのではないかと思います。このことを思うと、すばらしい恩師にめぐり遇えたことに感謝せずにはおられません。ゼミ合宿で遠出したことや銀行論の授業もなつかしい思い出です。

現在は大学資料編纂室に勤務しており、心機一転、新しい仕事に取り組んでいます。本学の歴史を繙くと、英語教育に多大な貢献をされた江本茂夫先生をはじめ、各界を代表する錚々たるメンバーが教授陣に名を連ねていることがわかります。先人達が築き上げた伝統の重みに触れ、身が引き締まる思いがいたします。

大学では創立者の建学の精神や学園の歩みについて紹介するためのコーナーを3号館の1階に設けております。是非お立ち寄りください。

## 「思い出」

小池 邦夫 (昭和38年機械工卒)



大学1~2年の教養課程では草薙教授の「ヤスパーの哲学」、朝倉教授の「車両工学」が印象深い。機械科の友人とESSに入会し、英字新聞の発行に携わった。3年には親友の誘いで水力学同

好会に入会し、4年には同研究室の卒論に「油圧ポンプの性能試験」のテーマを与えられ、研究室で5人の仲間と日ごな一日手回しのタイガー計算機と計算尺でデータ整理に追われた。俗に油圧が「暁の産業」と言われ油圧を研究する大学が数少ない頃だった。

やがて、卒論用の米国製のポンプの技術提携先の精密機械メーカーに就職が内定し、同社での夏季実習では10人近くの神大の先輩に歓迎していただいた。

さて、今や英語は世界共通の言語だが、たまたま提携先が米国なので英文の技術資料は当然読んでいた。現場勤務から営業技術に移ると課長の発案で、カナダ人の講師による就業後の英会話教室が始まった。意味がわからなくてもひたすら真似をしろという方式で、口が動いていないと上司も部下の面前で棒で打たれた。

その後、大層な機械装置を輸入したとき、その仕様を満足すべく米国の技術者とやり合ったが、英会話は能力より自己の意図を相手に伝える強固な意思が肝要だと痛感した。

顧ると神大の門を叩いて良き学友に出会い、就職先では同窓の諸先輩に励まされ、また10年前には同窓の素情ら

しい先輩後輩に巡り会えて自らの幸運を痛感する次第だ。

## 神奈川大学と共に46年

塩塚 定雄 (昭和48年貿易卒)

私は昭和44年4月に大学に入学し卒業後も引き続き、定年退職する昨年3月まで神大職員として奉職しました。



入学した当時は、ベトナム戦争に反対する全共闘などの学生運動が盛んになってきた時期で、学内にも立て看板、ヘルメットにゲバ棒スタイルの学生も登場し、学園紛争が

まさに始まろうとしていました。

職員になりたての頃、「大学の自治」を守ろうと教職員自ら身体を張って、大学封鎖を阻止したこともありました。それでも封鎖されたり、ロックアウトされたりした時には、学外に事務局を転々と移しながら事務をしたこともありました。神大の学園紛争は、全共闘の拠点校となっていたため、昭和50年代半ばまで続きました。

世の中がバブル期を迎えた時、私は就職課で勤務、リクルート問題が起きるなど就職情報誌が氾濫し、今とは違った苦労もありましたが、学生第一で働きました。

学生課では、父母懇談会や新しい奨学金の立上げ等、OBとして学生目線で仕事をさせていただきました。

一番長かったのは図書館勤務でしたが、アナログの時代です。和文や英文タイプを打つたり、資料を検索するにも経験を要し、図書館司書の資格も取りました。

最後の5年間は学生時代から始めたバスケットボールとの係わりから、往復100キロの平塚勤務を希望し、就職課勤務の傍ら部長としてクラブの面倒も見ました。

退職して1年、やっと大学を卒業し晴れてOBとなった気がします。現在は週に3~4日農場で働き、1日はテニススクールに通い、残りはバスケの応援や私用に当てています。至って健康に過ごしています。

## 「一力茶屋」

嶋田 晃 (昭和47年経済卒)



本年6月京都「一力茶屋」に招かれました。なんと、47年前の学生時代の約束が実現したのです。

友人は神奈川大学法学部の学生で同学年でした。現在は一部

上場企業の会長として活躍しております。

私たちが在学した、昭和44年ころは学生運動が盛んで、神大の校門は講堂の机が積み上げられ、有刺鉄線がまかれたバリケードが築かれており、本部等の屋上には「中核」の鉢巻が右往左往する中、登校し掲示板を確認すると「休講」と張り紙が掲示されておりました。

友人同士で示し合わせたように、横浜駅西口の「カリオカ」が別科の講堂でした。一杯のコーヒーを飲みながら、様々な会話が交わされ、延々と語りあいが続けられました。

そんな未来の展望を語り合う中、ホンダ技研の週刊誌の記事が話題となり、次の様な内容でした。本田宗一郎社長と藤沢専務が、ホンダ技研が世界のホンダになったら、京都祇園の夜をホンダで借り切ろうという夢と希望が語られておりました。

私達も、どちらかがその様な立場になったら京都「一力茶屋」で祝杯をあげようなどと夢のような約束をし、ついにその夢が現実となったのです。私は現在NPO法人「やすらぎ」の理事長として介護の仕事をしていただいております。また、市議会議員時代に運行が実現できなかった「コミュニティバス」の運行を地元追浜で行っております。年老いても「夢」に向かって情熱を燃やし続ける人生を送りたいと思います。

#### 私と神奈川大学 嶋田 順子（昭和47年短商卒）



私と神大との出会いは高校の図書室でした。友人達が大学受験へのラストスパートをしている時期、よく一緒に図書室に通いました。国公立への進学を断念し、さりとて母

子家庭の我が家にとって私立への進学は不可能でした。何げなしに受験案内の雑誌をめくっていて目に止まったのが神大Ⅱ部の存在でした。短大であれば入学一時金は4万円位であったと記憶しています。

既に公務員として横浜市への就職も決まっております、卒業後の1か月間アルバイトをして入学金を工面しました。正直、特に勉強したい事があった訳ではありませんでしたが、同期生が皆、大学進学する中で一抹の寂しさを感じていたのかも知れません。

4月から2年間、市役所の仕事が終ってから神大へ通う日々でした。民間企業と違い5時には即退庁する事ができ、同じ職場にやはり神大Ⅱ部へ通う先輩もいて、とても理解がありました。

二年の時、同じサークルの男性と知り合い、卒業後も交際は続けました。それが今の主人です。振り返れば、神大に行ったことで、私の人生は大きく変わったと思います。その後、出産と同時に退職。ずっと専業主婦でしたが、還暦を過ぎてから急に忙しい毎日となりました。

現在NPO法人の理事長。そこで行っている障害者作業所の所長。『ハマちゃんバス』の会長。別法人のグループホーム事務長など。風邪をひいてる暇もありません。健康第一で頑張っていきたいと思います。

#### あれから50年・準硬式野球部と共に！

鈴木 和夫（昭和46年法律卒）

私は昭和42年入学と同時に体育会準硬式野球部へ入部、今年で丁度50年となります。入部時は部員も15名程で野球の経験があった私は即試合に出させて頂きました。

現役時代一番の思い出は、昭和44年3年生の時に神奈川5大学春季リーグ戦に優勝し全日本大会へ出場（和歌山紀伊三井寺球場）し、初戦の中京大に2対1で勝利した事です。中京大のスタンドは丈の長い学ランの応援団員20人程。試合終了まで炎天下で応援し、試合に負けると何と球場の外周を、声を出しながらランニングをしているんです。負けた責任も応援団にあるのか？と思いました。（現在中京大は全日本大会優勝11回、準硬式No.1です）

全日本出場が自信となった私は、続く秋季リーグ戦で首位打者とベストナイン賞を獲得。野球への意欲が増し、卒業後は社会人野球の横浜金港クラブへ。そして野球の関係で横須賀信用金庫（現湘南信金）に就職。

野球部は12年間在籍しその後、現役時代の恩返しのもりで、35歳頃準硬式野球部の土曜監督を経てコーチになり、5年後には監督に就任。25年間務めて65歳で退任しました。

監督退任式では全国のOB関係者含め100人を超す盛大な慰労会をして頂きました。これは私の財産であり感謝の一念でした。

現在は総監督・OB会長、大学準硬式野球連盟（全国



学生時代の本人

280校・関東75校・神奈川8校加盟）では全日本評議員・神奈川副理事長の役員を仰せつかり、月に仕事を10日、還暦野球6回、ゴルフ2回等、充実過ぎる日々です。

## 小児化問題と大学

鈴木 稔 (昭和44年経済卒)



少子化の影響により18歳人口は、2018年118万人に減少し、2031年には100万人を割るのではないかとされており。

今から50年前、1966年

の18歳人口は249万人であったことから少子化が急速に進んだことが窺えます。周辺を見ても子供の姿を見かけることは少なくなり、65歳以上の老人世帯が多くなり、将来日本はどうなるかと余計な心配をする日々です。

横須賀市の人口も1992年の43.5万人をピークに減少し現在は40.5万人。市では2040年の目標人口を33.5万人と計画していますが、若者の市外への流出を食い止め、少子化対策を強化しなければ30万人を割り込み、地域経済に深刻な影響を与えることは必至でしょう。また近い将来、近隣自治体との合併を検討せざるを得ない時もあるのではないかと考えられます。

18歳人口の減少は、大学経営にも影を落とします。1955年の国公立・私立大学は228校でしたが、現在は779校と3倍強になりました。短期大学からの改組、新設等が増加要因ですが、4割の大学は定員割れの状況ようで、今後経営破綻するところが相次ぐのではと懸念しております。大学進学率は50%台で推移するにしても、大幅に増加する見込みは期待できません。受験生から見て魅力のある大学が生き残り、魅力のない大学は淘汰されることが市場の原理です。

最近の各大学の受験者数をみると、大学間の優劣がはっきりと見られるようになってきました。

母校は2018年に創立90周年、2028年には100周年を迎えます。勝ち組の一員として残れますよう、微力ではありますが応援をしていきたいと思っております。

### 発足10周年&古来稀なる70才をむかえて

砂川 正夫 (昭和44年経済卒)



「脅しの理論」これは決して無頼漢の威圧でもないし暴力暴言行為の理論でもない。我がゼミの経営学博士藤田忠教授(神大~国際基督教大学教授)が国内で紹介したハー

バード大学の経営理論である。平たく言えば意思決定理論の最新(当時)の成果の一つである。例として、セールスプロモーションで“値段を下げねばよそから買うよ”心理的効果をねらったもの。又会話の中で相手のペースに巻き込まれない手法。ゼミでは経営学を学び、大学の導入したコンピュータを用いた経営分析等充実したものであった。

企業戦士として勤務を終え、定年後第二の人生として神奈川県立観音崎公園に入社。在職10年目を迎えた。今思うに4年間の学生生活がたいへん役立っていることに気づいた。

公園職務としてパークコーディネーターを担当。近隣施設、企業、町内会、行政関係の渉外を担当している。近隣には大学の先輩、後輩が多数おられボランティア活動、並びにイベント、講演会講師等公園業務で協力を頂いている。大学に求めることとして、四年制大学の進学率が50%を超え、望めば必ずどこかの大学に入学できてしまう「大学全入時代」、「大学のユニバーサル時代」と呼ばれる現象が到来した。

しかし学生数はさほど大きく変化していないのが現況、むしろこれから学生数が減少し、大学の閉鎖や統合化が進むであろう。今日特色のある、例えば単科大学的要素を強調した学校運営やカリキュラムの組み方が望まれないか。

現在は、仕事をしながら週2回のテニス。月2回は葉山での三浦半島宮陵会テニスクラブの例会。又年1回はテニス合宿。お酒を酌み交わしながら楽しい毎日を過ごしております。

### 「毎日が日曜日」になって

武井 利徳 (昭和45年経済卒)



小説「毎日が日曜日」を読んだのは40年ほど前になるでしょうか。当時、そんな日が来ることは遙か先のことと想像することすら出来ませんでした。何十年か前に、ある芸人が歌

った「365歩のマーチ」の替え歌♪しあわせは歩いてこない だから歩いて ゆくんだね♪ を♪いてねんは歩いてこない いそいで 走ってくるんだよ♪ を聞いて、大笑いしましたが、“毎日が日曜日”を迎えた今、まさにそれを実感しております。

40数年の勤務は、一言でいえば“幸せなサラリーマン人生”でした。

高度成長期の70年に入社、71年ドルショック。やがて変動為替制移行。80年をピークとするオイルショック。日本経済の大転換期に立ち会いました。

その後も、バブル時代を経て、08年に端を発したリーマンショックその他、さまざまな苦境もありましたが、不思議なことに都度救いの手を差し伸べてくれる人が現れ多くの方に助けられました。人との縁を大切にすることを痛感し、今はお付き合い頂いた全ての方に感謝の気持ちです。

毎日が日曜日の今、地域の同じような方々と集い学び合う場に参加しております。皆さんが「私の履歴書」を披歴したり、趣味のこと、病気のこと、政治のこと、あるいは生と死といった避けられぬ話題も学びあっております。

身体は時としてあちこち痛み、医者に「加齢ですね」でかたづけられる“ちょいワルおやじ”ですが、心は健康で縁ある全ての方と希望ある人生を送れるよう願う日々です。

## 「神大の20年」と「最終講義」

田中 弘（神大名誉教授）

1993年、私は、名古屋の愛知学院大学から、神奈川大学経済学部に移籍してきました。丁度、バブルがはじけたころでした。以来、経済学部教授として20年、その後、神大名誉教授として皆様とつながっています。

在職中は、本務以外に、大蔵省の保険経理フォローアップ研究会座長、公認会計士2次試験委員、郵政省保険計理研究会座長などの政府の仕事を担当したり、1年間の在外研究でロンドン大学客員教授を経験したり、充実していました。

教員であり研究者である身には、神大は素晴らしい大学でした。自由な研究の環境、高度な研究を受け入れる能力のある学生・院生、どの1日もどの1年も充実していました。

神大に在職した20年と定年退職後の2年で、本を60冊以上書くことができました。論文は200本を超えたと思います。書けがいい・・・というものではないことは承知しています。しかし「学者は書いたものでしか勝負できない」のです。いくら偉そうなことをしゃべっても、しゃべるだけなら「床屋の政治論議」と同じです。まだまだ書き続けようと思います。

いま73歳。「富士の5合目」です。体力は少し衰えましたが、気力は十分です。まだまだ「枯れる歳ではない!」。写真は、2年前の定年退職時に開いた「最終講義」の時のものです。目を皿にさせていただくと、三浦半島支部の方がたくさん写っています。その節はありがとうございました。



最終講義祝賀会での記念撮影・前列左から2番目が田中教授

## 神奈川大学吹奏楽部の今昔 ～三浦半島宮陵会創立10周年に寄せて～ 田原 清彦（昭和49年貿易卒）

神奈川大学吹奏楽部は昭和13年に結成され、現在では130名以上の部員を有する日本における大学吹奏楽部門の最高峰と称されるほどに成長しました。学生自らが音楽性の追究や吹奏楽のあり方の研究など、他校とは一線を画した方針を古くから有しており“うるさいプラスバンド”ではなく、交響的で高い音楽性を求める気風が設立当初からありました。部名の英語表記はKanagawa University Symphonic Band (KUSB)で、そうした一面がうかがえます。



神奈川大学、防衛大学、関東学院大学、横浜商科大学等々が主要な学生バンドでしたが、未熟な学生の手で練習・運営していたにもかかわらず、県予選、関東地区予選で1位を獲得して関東代表として全日本に出場するレベルでした。

他大学は応援団総部という呼称で応援団の活動をしており、当部も学生服で野球応援の演奏もしていた関係から左翼系学生運動家は吹奏楽部を右翼系とみなしていました。

重要な譜面や値の張る楽器は、学校そばに住む部員の四畳半の部屋に毎日持ち帰り避難させていたのもこの頃です。学生運動の影響で残念ながら部員は当時20名ほどに減少し火が消えかけた時ですが、この伝統を消してはならないと吹奏楽部再生活動を行ったのが1970年です。

新入生の私を数えてようやく30名ほどになりましたがコンクールの課題曲、自由曲では少人数の為、壮大さを表現する音量部分と重厚なハーモニーでは大きなハンデでした。小人数の編成にもかかわらず県大会、関東大会では金賞に輝き、1970～1973年（73年は小生が指導、指

揮)と全日本吹奏楽コンクールで銀賞連続受賞を4年間果たしました。

当時は東の駒沢、西の関西学院と言われた時で、両校は早くからプロの指導者による指導で演奏をしていましたが神大は学生だけで連続銀賞受賞をはたし、今から考えると消えかけたろうそくの火の炎を再燃させ、さあ金賞を取るぞというスタート台になり、それが今の隆盛につながったと思うと嬉しい限りです。1970年代前半は苦難の時代、そして後半は新しい時代を築こうという機運が高まり1977-78年には外部からの指導者をお迎えし始めました。1978年は初めての金賞を受賞して歴史的瞬間となりました。

その後全日本吹奏楽コンクールで大学最多の金賞通算27回受賞、世界レベルまで達している神奈川大学吹奏学部はOBの誇りです。神奈川大学の使命と将来像に沿い、学生それぞれが専攻する学部学科に就学のかたわら吹奏楽の研究研鑽に励んでいってほしいと願っています。これからも三浦半島宮陵会のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 学生時代の成果！

内藤 正久 (昭和51年機械卒)



私の大学生活は、昭和48年(1973年)~昭和51年(1976年)の4年間でした。当時は学生運動が激しい時期で、ロックアウトも頻繁にあるという状況でしたが、幸運にも

良い教授に巡り合えたことで今の私があると思って感謝しています。

私は、鉄道車両を作る仕事をしたいくて、工学部の機械工学科を受験して入学しました。1年生の時に国鉄中央研究所出身で材料工学の授業を担当して下さった、鉄道車両に造詣の深い山本有孝先生にお会いし、4年生の卒業研究は山本研に入れるよう何度もお願いして、その熱意で入れていただきました。先生は卒業研究を指導して下さるだけでなく、就職についても非常に面倒見がよく、直筆の推薦状を書いて下さったり人事担当役員に連絡して下さったりと、全面的に応援して下さいました。そのおかげで第一志望の京浜急行電鉄にキャリアで入社できました。

今でもブルーの万年筆で書いて下さった推薦状、立て続けにたばこを吸われる仕草、日本酒の剣菱をおいしそうに召し上がるお顔等々が脳裏に浮かんできます。京急では

鉄道車両の部署は5年間と短く車両を作ることはできませんでしたが、その後、教育・流通・開発・営業、そして監査部門等を経験させていただき、いまでも現役で頑張っております。大学では勉強はしませんでした。一生を左右する先生に出会えて師事できたことが、神大での一番の成果だったと思います。

## 大熊信行ゼミで人生の基礎を学んだ

中川 六郎 (昭和44年経済卒)



私が入学した昭和40年(1965年)、大熊信行教授は、シックなスーツにベレー帽を被りショルダーバッグを肩にかけて颯爽と歩く姿はダンディそのものだった。

当時、「世界」や「中央公論」に論文を執筆し、新聞のコラムにも執筆されていた。メディアで仕事をしたいと思っていた私は、迷わず大熊ゼミを志望した。

就職は、高校が電気科であったこともあり理工系の出版社に入った。仕事は、営業、宣伝、雑誌編集などを経験することができた。学生時代から大熊先生に新聞社や出版社に同行させていただいたので、出版業界にもすんなり入っていくことができた。大手電機メーカーなどの取材や、朝日や読売新聞社のパーティーでも、社長などと臆することなく接することができた。管理職になって出版業界で業界団体の役員をした経験は、いま地元で、21団体ある体育協会を束ねていくときに役立っている。

大熊先生の研究対象は、経済学から、政治、思想、文学、芸術と多岐にわたり、ジャーナリズムでも広く発言されていた。大熊先生のもとで卒業後も多くのことを学ばせていただき、私も出版人として必要な広い視野をもつことができた。

私は大熊ゼミで人生の基礎となる目に見えない大きな財産を身につけることができたと思う。大学を卒業したと言うよりゼミを卒業したと言える。ゼミのない大学は考えられない。

## 長男・次男に感謝、故清水さんに感謝

西脇 幸二 (昭和53年貿易卒)

発足10周年誠におめでとうございます。息子二人が神奈川大学にお世話になり、その時に後援会役員を受け、後援会事務局を担当していた清水課長と知り合い、その縁で三浦半島宮陵会に入ることができました。

今はテニス同好会で、テニスは初めてで下手ですが楽しんでます。素晴らしいOBの皆様に出会え、息子二人と清水さんには大変感謝しています。

中学生当時は学生運動が激しく、金銭面も考え工業高校に入学。卒業後に会社に就職。入社して2~3年頃、若かったせいか会社に嫌気がしてきました。夜間なら違った経験もできるし、学生運動も大丈夫かなと思い上司に黙って神奈川大学を受験しました。合格してから上司に話し、会社が外資系だったので、英語力を身に付けると上司を説得し会社の補助制度を利用して入学しました。

ところが学生運動が終わったところではなく、1年次(2年次も?)の定期試験はロックアウトでレポート提出となりました。そのお蔭で1・2年次でほとんどの単位を取ることができ、3・4年次は大学に通学した記憶が薄れています。

会社を10年前に早期定年退職し、5年間の横須賀市非常勤職員の後、臨時職員としてコミュニティセンターに勤務しています。定年後はボランティアをと思っていたのでいろいろと活動しています。

趣味はソフトボール等運動(と飲酒)することです。現在は神奈川大学後援会会長を拝命しておりますので、今後も後援会を通して母校に貢献する所存です。



父母懇談会の折、故清水さん(左端)と懇談する西脇さん(右端)

## イタリア旅行の思い出

原 柳作 (昭和46年英文卒)

「一度はフィレンツェを」と親しい旅行会社から聞かされていたので本年5月中旬、妻とイタリアを訪れました。フィレンツェでは、ルネサンスを支えた最大のパトロン・メディチ家が収集した膨大な美術品を展示したウフィツィ美術館で「ヴィーナスの誕生」(ボッティチェッリ)や「ヒワの聖母」(ラファエロ)などの実物をこの目で見ました。たまたま美術館で「日本の皇太子が訪れるから部屋から出てください」と一旦追い出されました。秋篠宮殿下が訪れていたのです。

ミケランジェロ広場から、世界遺産で15世紀ルネサンス文化の中心地・フィレンツェの街並みを見下ろしました。絵本に出てくるような美しさに、しばし見惚れていました。

カトリックの総本山バチカン市国や紀元前に建造されたコロッセオなど古代遺産が多く、街全体が博物館のような首都ローマ。オペラ最高峰の舞台・スカラ座があり、400年の歳月を経て完成した豪壮で華麗なゴシック建築のドゥオーモ(大聖堂)が街のシンボルでもあるミラノ。宿泊ホテル近くのスーパーに買い物に出かけた仲間が、2人組にパスポートや財布の入ったバックをひったくられました。飲み水やトイレが有料であることや強盗に遭ったことなどを含め、「瑞穂の国」との大きな違いに気づかされた旅でした。

卒業後に就職した地元新聞社に今もお世話になっています。



ミケランジェロ広場から見下ろしたフィレンツェの街

## 神奈川大学三浦半島宮陵会・発足10周年を振り返って

古川 勝彦 (昭和40年経済卒)



あっという間の10年でした。立ち上げ時を、今思い起こしています。平成18年10月のホームカミングデーの帰途で、三浦半島宮陵会の立ち上げを意図し、六角橋の「末広」に

砂川正夫さん(現副会長)、鈴木稔さん(初代事務局長)、宮陵会本部の平能孝一さん(現専務理事)、武笠健治さん(現本部参与)、古家秀紀さん(三井物産宮陵会会長)と私(初代会長)が集まったと記憶しています。

本部の意向は、三浦半島地区(横須賀、三浦、鎌倉、逗子、葉山の4市1町)に地域組織がまだ出来ていなかったため「早く組織を立ち上げて欲しい」という強力なものでした。ホームカミングデーの帰りであったためか志も高揚してしまい、「末広」の美酒の勢いもあって、皆さまの熱

意に促されるままに設立準備委員長を引き受けてしまいました。発足後は支部長（現在は会長と解消）となり、昨年、本部宮陵会副会長に推挙されたのを機に会長職を鈴木和夫さんに引き継ぐまでの9年間、務めました。現在は顧問職です。

いろいろ苦労はありましたものの、無事に大過なく務めることが出来たのは、会員の皆さまを始め役員の方々の並々ならぬ支えと本部の応援の賜物であります。

ゴルフ会、歩こう会、テニス会、釣り会などの趣味の会活動やJR保土ヶ谷駅前の正月恒例の箱根駅伝沿道応援、総会・新年会・記念講演会などへの会員の皆さんの積極的な参加、さらには会報の発行やHPの運営にも協力をしていただいていることなど、全てにおいて助けていただいたお蔭で地域組織が育ったものと感謝しています。

現在は本部の副会長職にあるものの、「ここは三浦半島にあり」の心境で、引き続き頑張ります。ご支援ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

### 「That's amazing」

堀越 昌樹（昭和62年法律卒）



三浦半島宮陵会の発足10周年おめでとうございます。本会の役員の中で一番の若輩者ですが、なんとか会計監査を務めさせていただいております。ありがとうございます。

います。

私の学生時代はバブル景気前であります。まじめに学校へ通った記憶も、一生懸命に勉学に励んだ記憶もない（バブル景気のような盛り上がりのない）なんとなく過ごした4年間でありました（卒業必修科目の英語を4年生まで残してしまった等々の苦い思い出の4年間かもしれませんが、なぜか表題も英語にしてみました）。

そんな私が何故に本会の役員となり、この原稿を書いているのだろうか？ 人縁・地縁の妙と申しましょうか、まさに「驚き（That's Amazing!）」と感じております。

三浦半島宮陵会に入会したのは、設立から数年経たところに勤務先である湘南信用金庫の先輩、鈴木和夫会長に誘われてのものでした（以前に私の所属しておりました支店の支店長であったこともあり、入会しないという選択肢は当然ありません）。

入会后、出席した新年会・総会は魅力的な先輩方と一緒に過ごすことができ、楽しいものでありました。そんな訳で、何度

目かの会の出席連絡の葉書の連絡欄に「私にでもできることがあれば、微力ながらお手伝いしたい」との内容を書いたのがきっかけで、役員として誘っていただき、現在に至っております。

私の職業も人縁・地縁を大切にしております。神奈川大学、そして三浦半島宮陵会の諸先輩から受けた薫陶を大切に、本会の魅力を私の周りに、何かしらの驚きとともに、波及させていきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

### 鎌倉市自治町内会総連合会長に就任して

矢澤 基一（昭和44年経済）



平成28年5月12日鎌倉市自治町内会総連合総会において会長に就任し、向こう2年間、鎌倉市内250の自治町内会のトップとして活動することになりました。（市内

5地区で持ち回り方式）

平成15年の退職と同時に地元鎌倉市常盤町内会の活動に携わり、事務局長を4年、副会長を1年、平成21年から会長に就任し、今年で8年目となりました。（町内会活動通算13年）

3年前から深沢地区連合町内会会長を兼務し、今年から上部団体である鎌倉市自治町内会総連合会会長を引き受けることになりました。

これから、自治・町内会に課せられた問題は多岐にわたりますが、行政の下請けとしてではなく、自立した町内会活動をしなければと考えています。

地域で出来ることは、地域が主体的に担うことを基本とし、地域社会を構成する人々が相互に補完し合い、課題解決に向けて力を合わせる事の出来る、新しいまちづくりが求められております。

追伸 私の深沢小・中学校の後輩である神大硬式野球部出身の住吉投手の消息ですが、今春卒業後山形きらやか銀行の野球部に入部し、今年の都市対抗に東北第一代表で出場が決まりました。

### 発足10周年を迎えて

若林 秀明（昭和39年経済）

設立総会が平成18年4月に大学構内で開催されてから早いもので10年が経過しました。この間会員の皆様には大変お世話になり、この紙面をお借りして感謝いたします。



発足当初から卒業生は大勢輩出しているのに、会員が集まらずに、年に数回開催しています役員会でその対策について各自意見をもち寄り検討しましたが、なかなか決め手となる対策がありませんでした。

しかし、ここ数年にわたり、役員の方々の努力により会員の増強策が試行され「イノベーション」関係の団体や最近の卒業生および在校生等の若い方々も、新年会・総会に出席をされるようになり、やはり「継続は力なり」ということを再認識しました。これからも宮陵会に参加して下さる方が多くなり、ますます隆昌することを願っております。

現在は後期高齢者の仲間に入り、若い時のように働くことなく、地元の神社役員をやりながら町内会の活動に参加し、地域発展に努めております。趣味としては市内の有志による「写経」の会に参加し、展覧会に作品を発表することで、老化防止や健康維持をしております。

### 三浦半島宮陵会発足10年を振り返る

2016年8月4日(木)から6日(土)まで、長野県の八ヶ岳の裾野に広がる神奈川大学富士見高原研修所におきまして、臨時役員会を開催(下記写真)しました。そこでは総会の総括等を行い2泊3日の楽しい会となりました。



以下、節目の10年となりますので、この機会に10年の歩みを年表で振り返ることとしました。

- 2015.11.20 ゴルフ同好会第28回オープンコンペ開催・京急市原カントリークラブ
- 2015.10.9 つり同好会開催・イナダの五目釣り
- 2015.9.18 三浦半島宮陵会だより第20号発行
- 2015.8.2&3 テニス同好会夏季合宿開催・千葉県白子温泉
- 2015.7.17 ゴルフ同好会第27回オープンコンペ開催・葉山
- 2015.6.14 2015年度総会開催・セントラルホテル
- 2015.3.20 ゴルフ同好会第26回オープンコンペ開催
- 2015.3.15 三浦半島宮陵会だより第19号発行
- 2015.2.1 2015年新年会開催・セントラルホテル
- 2015.1.2&3 第91回箱根駅伝を応援
- 2014.12.21 臨時役員会開催・城ヶ島京急ホテル
- 2014.12.6 歩こう会開催・鎌倉市内散策
- 2014.11.14 ゴルフ同好会第25回オープンコンペ開催・葉山
- 2014.9.27 三浦半島宮陵会だより第18号発行
- 2014.8.22&23 テニス同好会夏季合宿開催・箱根保養所
- 2014.8.6 臨時役員会開催・横須賀市民サポートセンター
- 2014.8.1 ゴルフ同好会第24回オープンコンペ開催・葉山
- 2014.6.15 2014年度総会開催・セントラルホテル
- 2014.5.13 役員会開催・横須賀市民サポートセンター
- 2014.3.30 三浦半島宮陵会だより第17号発行
- 2014.3.28 ゴルフ同好会第23回オープンコンペ開催
- 2014.2.2 2014年新年会開催・セントラルホテル
- 2014.1.2&3 第90回箱根駅伝を応援
- 2013.11.23 役員会開催・横須賀市民サポートセンター
- 2013.11.22 ゴルフ同好会第22回オープンコンペ開催・鹿野山ゴルフ倶楽部
- 2013.9.28 三浦半島宮陵会だより第16号発行(改題)
- 2013.8.11~13 テニス同好会夏期合宿開催・箱根保養所
- 2013.7.12 ゴルフ同好会第21回オープンコンペ開催・葉山
- 2013.6.9 2013年度総会開催・セントラルホテル(神奈川大学三浦半島宮陵会に変更)
- 2013.3.23 三浦半島支部だより第15号発行
- 2013.3.8 ゴルフ同好会第20回オープンコンペ開催・葉山
- 2013.2.2 2013年新年会開催・セントラルホテル
- 2012.12.8 歩こう会開催・鎌倉の散策
- 2012.12.2 役員会開催・海宝寺(葉山鑑習)
- 2012.11.1 ゴルフ同好会代19回オープンコンペ開催・鹿野山ゴルフ倶楽部
- 2012.10.14 役員会開催・京急城ヶ島観光ホテル
- 2012.9.9 三浦半島だより第14号発行
- 2012.8.9~11 テニス同好会夏期合宿開催・富士見研修所
- 2012.7.27 ゴルフ同好会第18回オープンコンペ開催・葉山
- 2012.6.17 2012年度支部総会開催・セントラルホテル
- 2016.8.4~6 テニス同好会合宿・臨時役員会開催・富士見研修所
- 2016.7.22 ゴルフ同好会第30回オープンコンペ開催・葉山
- 2016.6.19 2016年度総会開催・セントラルホテル
- 2016.3.26 役員会開催・城ヶ島京急ホテル
- 2016.3.25 ゴルフ同好会第29回オープンコンペ開催・葉山
- 2016.3.12 神奈川大学三浦半島宮陵会だより第21号発行
- 2016.1.31 2016年新年会開催・セントラルホテル
- 2016.1.2&3 第92回箱根駅伝の応援
- 2015.12.12 歩こう会開催・奥谷戸~瑞泉寺

2012.5.29 歩こう会開催・観音崎&猿島

2012.5.13 臨時役員会開催・大船行政センター

2012.3.25 三浦半島だより第13号発行

2012.3.16 ゴルフ同好会第17回オープンコンペ開催・葉山

2012.1.29 2012年新年会開催・セントラルホテル

2011.12.1 役員会開催・横須賀市産業交流プラザ

2011.11.26 歩こう会開催・鎌倉の散策

2011.10.21 ゴルフ同好会第16回オープンコンペ開催・  
京都市原カントリークラブ

2011.10.1 役員会開催・京急城ヶ島観光ホテル

2011.9.19 三浦半島だより第12号発行

2011.8.11~13 テニス同好会夏期合宿開催・富士見研修所

2011.7.15 ゴルフ同好会第15回オープンコンペ開催・葉山

2011.6.19 2011年度支部総会開催・セントラルホテル

2011.6.11 役員会開催・メルシャン鎌倉研修センター

2011.6.4 歩こう会開催・長柄桜山古墳群と二子山

2011.4.16 役員会開催・葉山港管理事務所

2011.3.26 三浦半島支部だより第11号発行

2011.3.11 ゴルフ同好会第14回オープンコンペ開催・葉山

2011.1.30 2011年新年会開催・セントラルホテル

2010.12.25・26 役員会開催・箱根保養所

2010.11.20 歩こう会開催・武山と津久井浜観光農園

2010.10.21 ゴルフ同好会第13回オープンコンペ開催・  
富津市「エンゼルカントリークラブ」

2010.9.25 役員会開催・京急城ヶ島観光ホテル

2010.9.17 つり同好会開催・アジ釣り大会

2010.8.28 三浦半島支部だより第10号発行

2010.8.20 テニス同好会夏期合宿開催・富士見研修所

2010.7.2 ゴルフ同好会第12回オープンコンペ開催・葉山

2010.6.12 2010年度総会開催・横須賀市産業交流プラザ

2010.6.5 臨時役員会開催・横須賀市産業交流プラザ

2010.4.17 役員会開催・鎌倉市玉縄学習センター

2010.4.3 歩こう会開催・重要文化財の仏像拝観と大楠山

2010.3.13 役員会開催・葉山港港湾管理事務所

2010.3.10 三浦半島支部だより第9号発行

2010.3.5 ゴルフ同好会第11回オープンコンペ開催・葉山

2010.2.6 つり同好会開催・発足記念タイ釣り大会

2010.1.30 2010年新年会開催・セントラルホテル

2009.12.12 役員会開催・横須賀市産業交流プラザ会議室

2009.11.26 ゴルフ同好会第10回オープンコンペ開催・  
君津市鹿野山カントリークラブ

2009.10.17 箱根駅伝予選会応援・国立昭和記念公園

2009.9.26 役員会開催・城ヶ島京急ホテル

2009.8.1 三浦半島支部だより第8号発行

2009.7.31 ゴルフ同好会第9回オープンコンペ開催・葉山

2007.7.1 ホームページ運用開始

2009.6.20 2009年度総会開催・セントラルホテル

2009.5.24 役員会開催・神大横浜キャンパス

2009.4.20 テニス同好会誕生・定例会スタート

2009.3.28 役員会開催・大船ルミネウィング

2009.3.15 歩こう会開催・走水〜観音崎公園

2009.3.13 ゴルフ同好会第8回オープンコンペ開催・葉山

2009.3.10 三浦半島支部だより第7号発行

2009.2.10 神大創立80周年記念事業募金を大学に贈呈

2009.1.31 2,009年新年会開催・セントラルホテル

2008.12. 役員会開催

2008.11.19 ゴルフ同好会第7回オープンコンペ開催・  
千葉「上総富士ゴルフクラブ」

2008.9.20 役員会開催・横須賀産業交流プラザ

2008.9.10 三浦半島支部だより第6号発行

2008.7.11 ゴルフ同好会第6回オープンコンペ開催・葉山

2008.6.14 2008総会開催・ホテルトリニティー横須賀

2008.5.25 役員会開催・神大横浜キャンパス

2008.4.20 三浦半島支部だより第5号発行

2008.3.15 役員会開催・城ヶ島京急ホテル

2008.3.7 ゴルフ同好会第5回オープンコンペ開催・葉山

2008.1.26 2008年新年会開催・ホテルトリニティー横須賀

2007.12.15 役員会開催・メルシャン鎌倉研修センター

2007.12.1 三浦半島支部だより第4号発行

2007.11.15 ゴルフ同好会第4回オープンコンペ開催・  
千葉「総丘カントリー倶楽部」

2007.9.15 役員会開催・横須賀市産業交流プラザ

2007.7.25 三浦半島支部だより第3号発行

2007.7.13 ゴルフ同好会第3回オープンコンペ開催・葉山

2007.6.16 2007年度総会開催・神大横浜キャンパス

2007.5.18 役員会開催・葉山「魚佐」

2007.3.9 ゴルフ同好会第2回オープンコンペ開催・葉山

2007.3.15 役員会開催・逗子「あん彦」

2007.2.24 歩こう会開催・鎌倉天園コース

2007.2.10 三浦半島支部だより第2号発行

2007.1.20 2007年新年会開催・横須賀「鳥の巣」

2006.12.16 役員会開催・城ヶ島京急ホテル

2006.12.7 ゴルフ同好会第1回オープンコンペ開催・  
千葉「エンゼルカントリークラブ」

2006.10.1 三浦半島支部だより創刊号発行

2006.9.21 役員会開催・鎌倉「銀座アスター鎌倉賓館」

2006.7.20 役員会開催・横須賀「魚藍亭」

2006.6.24 設立総会開催・神大横浜キャンパス

